

新NISAで投資したい2つのETN!

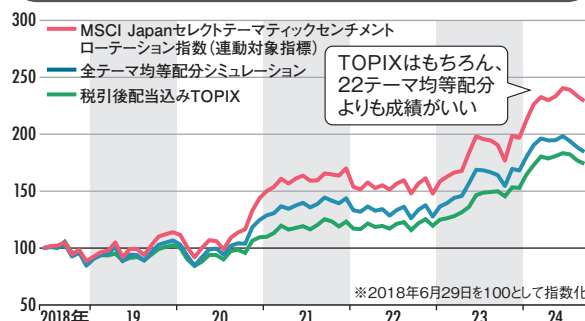
162A

AIセレクトメガトレンド 日本株(ネットリターン)ETN

4テーマへの投資で分散効果も期待できる

AIが選んだ最新テーマは、「ロボティクス」「自動化テクノロジー&産業イノベーション」「次世代インターネット・イノベーション」「ミレニアル」の4つ(24年10月時点)。各テーマの組入比率の上限を25%とすることで分散効果も追求している。

連動対象指標と全テーマ均等配分シミュレーション、 TOPIXの成績比較



※2024年9月30日時点。出所:MSCI社データ、Bloombergデータを基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。注:2018年6月29日の水準を100として指数化したもの(月次)。将来のパフォーマンスを約束するものではありません。[全テーマ均等配分シミュレーション]は、選定対象となるテーマインデックス群に属するテーマの全てに仮に均等配分した場合のリターン推移を示します。

組入銘柄トップ10

(2024年9月30日時点)

コード	銘柄名	組入比率
1	6501 日立製作所	5.4%
2	6857 アドバンテスト	5.1%
3	6861 キーエンス	5.1%
4	6954 ファナック	5.1%
5	6503 三菱電機	4.9%
6	7203 トヨタ自動車	4.8%
7	6273 SMC	4.8%
8	7974 任天堂	4.7%
9	6758 ソニーグループ	4.7%
10	6902 デンソー	4.7%

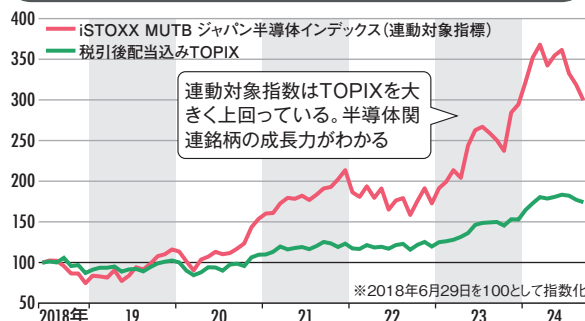
163A

半導体フォーカス 日本株(ネットリターン)ETN

半導体関連銘柄が約1万円で買える!

連動対象指数は、半導体売上高比率(総売上高に占める半導体関連売上高の比率)が上位の銘柄を組入れ、半年ごとに見直す。半導体関連株は数10万~数100万円する銘柄が多いが、このETNは約1万円(1口)から買えるのも魅力。

連動対象指標とTOPIXの成績比較



※2024年9月30日時点。出所:Bloombergデータを基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。注:2018年6月29日の水準を100として指数化したもの(月次)。将来のパフォーマンスを約束するものではありません。

組入銘柄トップ10

(2024年9月30日時点)

コード	銘柄名	組入比率
1	8035 東京エレクトロン	7.8%
2	6146 ディスコ	7.8%
3	6857 アドバンテスト	7.7%
4	6758 ソニーグループ	7.6%
5	6920 レーザーテック	7.4%
6	7741 HOYA	7.4%
7	6723 ルネサスエレクトロニクス	7.1%
8	6501 日立製作所	5.5%
9	7735 SCREENホールディングス	4.7%
10	3436 SUMCO	2.9%

三菱UFJモルガン・スタンレー証券の

3つの魅力!

プロ並みの情報やツールなど、個人投資家をサポート!

同社は、国内トップクラスの各分野のプロフェッショナルが在籍しており、有益なレポートを提供。また、プロが使う資産分析サービスをはじめ、複数の「モバイルサービス」の利用が可能。

口座開設はこちらから



主なリスクと留意点 必ずご確認ください ●ETNを通じて株式に投資する場合、各商品の価格は株価の変動や参考とする指標の変動の影響を受け、変動します。また、ETNは裏付けとなる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力を背景として発行されるため、発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価格が下落する可能性があります。したがって元本が保証されているものではなく、損失を生じるおそれがあります。●ETNの売買取引には約定金額に対し最大1.43%(税込)の売買手数料がかかります。[ただし約定金額が193,000円以下の場合は最大2,750円(税込)]。本資料掲載のETNの管理費用は、最大年率0.95%です。●費用の合計額やその他の費用は保有期間等により異なりますので、表示することができません。各商品のリスクや費用に関して詳しくは、有価証券届出書や契約締結前交付書面等でご確認ください。●本広告に掲載されているデータは過去の指数推移および一定の前提に基づくシミュレーションです。掲載商品の実績ではなく、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。●本広告は当社が信頼できる情報をもとに作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

指数の利用に関する留意事項 ●資料に記載された商品は、MSCI Inc. (以下、「MSCI社」) が後援、保証または宣伝するものではなく、MSCI社は当該商品または当該商品が依拠する指数に関与していかなる責任も負いません。MSCI社と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社および当該商品との間の限定的な関係の詳細な記載は当該商品に係る有価証券届出書をご参照下さい。●STOXX Ltd.、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、本資料に記載された商品について、後援、宣伝、販売又はその他のいかなる形での支援も行うものではなく、また本資料に記載されている商品、または本指数に関連して、いかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。

商号等:三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

長期分散投資の新選択 「注目テーマ」「半導体」 2つのETNの魅力!

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

【162A】AIセレクトメガトレンド 日本株(ネットリターン)ETN
【163A】半導体フォーカス 日本株(ネットリターン)ETN

三菱UFJモルガン・スタンレー証券が注力するETN。2024年も2本が上場した。1本はAIが注目テーマを選定し、四半期ごとに入替えるユニークなETN、もう1本は日本の半導体関連銘柄を選定する、今見逃せないETNだ。どちらも成長投資枠対象、中長期的に高いリターンを期待したい人にオススメだ。

今後の株価上昇が期待できる 成長テーマに着目したETN

「ETFは知っているけれど、ETNはよく分からないな...」という人は、意外と多いのでは。ETNとは「Exchange Traded Note」(上場投資証券)の略で、指数に連動する点や、取引所で売買できるという特徴はETFと同様だ。違いは、ETFのように運用会社が裏付けとなる資産(株式や商品など)を保有する必要がないので、幅広い指数を対象にできること。三菱UFJモルガン・スタンレー証券はここに着目し、ユニークな指数に連動するETNを次々と開発している。

難しいテーマの入替えを AIが継続的に行う

2024年3月に上場した「AIセレクトメガトレンド日本株(ネットリターン)ETN」は、非常にユニークな商品。その名の通り、産業や社会の未来を形作るメガトレンドの中から、注目度の高いテーマをAIが定期的にセレクト(選択)し、組入れ銘柄を見直す仕組みを持った指数との連動を目

指すのが大きな特徴だ。テーマの候補は、「ロボティクス」「フューチャー・モビリティ」「クリーンエネルギー・インフラ」など22種類あり(24年10月時点、四半期ごとに最も有望な4テーマを選んで入替える。入替えの基準となるのは、世界中の約10万の情報源から取得したメディア記事をAIが評価したスコア。ファンドマネージャーが選ぶのではなく、AIが機械的に入替えるのでバイアス(偏見)が介在しにくい。人手がかからないため管理費用を抑えられるメリットもある。

テーマ型投資が難しいのは、どんなに有望なテーマだと思っても、年月を経ると陳腐化する可能性があること。その点、AIが有望テーマを継続的に入替えてくれるなら、長期で安定的なリターンが期待できそうだ。

長期的な拡大が見込まれる 半導体にETNで投資

一方、「半導体フォーカス日本株(ネットリターン)ETN」も24年3月に上場。こちら

は、半導体売上高比率が高い銘柄(最大50銘柄)で構成される日本株指数に連動する。AIの急速な普及とともに、半導体需要は長期的な拡大が見込まれている。テーマを1つに絞って投資したいなら、こちらを検討してみるのもいいだろう。

2つのETNは、新NISA成長投資枠の対象で、基本的などの証券会社を通じて購入できる。NISA口座を活用して、ぜひETN投資を始めてみてはいかがだろう。

Check!

三菱UFJモルガン・スタンレー証券HPでは ETNに関する最新情報が充実!

同社HPには、ETNの仕組みやリスクの解説に加え、各銘柄の一証券当たりの償還価額、期間別の騰落率、構成銘柄上位を紹介する月次レポート等が随時更新されている。最新の情報が入手できるので、投資に役立つ。

